2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月6日

上場会社名	株式会社　島津製作所		上場取引所　東
コード番号	7701	URL https://www.shimadzu.co.jp	
代表者	（役職名）代表取締役　社長	（氏名）山本　靖則	
問合せ先責任者	（役職名）理財部長	（氏名）小笠原　弘士	TEL 075-823-1127
半期報告書提出予定日	2026年11月9日	配当支払開始予定日　2026年12月2日	

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	281,984	10.0	37,359	18.3	38,729	23.5	28,264	19.6
2026年3月期中間期	256,342	2.0	31,580	4.5	31,349	10.4	23,630	10.9

(注)包括利益　2027年3月期中間期　26,347百万円（△4.9%）　2026年3月期中間期　27,694百万円　(124.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	97.82	―
2026年3月期中間期	81.79	―

(参考)のれん等償却前営業利益　2027年3月期中間期　38,103百万円(18.0%)
2026年3月期中間期　32,288百万円　(5.1%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いています。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	868,074	579,788	66.8
2026年3月期	737,978	565,166	76.6

(参考)自己資本　2027年3月期中間期　579,776百万円　2026年3月期　565,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	27.00	―	42.00	69.00
2027年3月期	―	28.00			
2027年3月期(予想)			―	44.00	72.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	12.4	84,000	14.0	85,000	2.7	61,000	0.8	211.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
※上記予想に関連する事項については、添付資料P.5「1.経営成績等の概況　(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
(参考)のれん等償却前営業利益　89,000百万円(18.4%)

※　注記事項

(1)当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　18社（社名）Tescan Group a.s.他、 除外　-社（社名）-

(注)詳細は、添付資料P.13「2.中間連結財務諸表及び主な注記　(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2)中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

(4)発行済株式数(普通株式)

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	296,070,227株	2026年3月期	296,070,227株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	7,253,851株	2026年3月期	7,130,002株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	288,938,364株	2026年3月期中間期	288,928,391株

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.2026年8月6日に公表しました通期の連結業績予想は、本資料において修正しています。

2.上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、添付資料P.5「1.経営成績等の概況　(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

〇添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況 ……	2
(1)当中間期の経営成績の概況 ……	2
(2)当中間期の財政状態の概況 ……	5
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 ……	6
(1)中間連結貸借対照表 ……	6
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……	8
中間連結損益計算書 ……	8
中間連結包括利益計算書 ……	9
(3)中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……	10
(4)中間連結財務諸表に関する注記事項 ……	12
(セグメント情報等の注記) ……	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)……	13
(継続企業の前提に関する注記) ……	13
(連結範囲の重要な変更) ……	13
3. 補足情報 2027年3月期中間期 決算の概要 ……	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の世界経済は、中国経済の不振や、ウクライナ紛争および中東地域における緊張をはじめとした地政学リスクの継続により、先行き不透明な状況が続きました。一方で、半導体関連市場は引き続き好調に推移し、また北米や中国ではバイオ医薬等の研究開発・生産に関連する投資も活発に行われました。

このような状況下、中期経営計画で注力するコア事業*の拡大に取り組みました。具体的には、ライフサイエンス分野における医薬・食品市場の研究開発・品質管理・省力化ニーズに向けて、液体クロマトや質量分析システム、生成AIを活用したソフトウェアを展開したほか、試薬・消耗品のラインアップ強化やサービス事業の拡大などのリカーリング事業展開を進めました。

また、成長する半導体市場では、産業機器事業の主力製品であるターボ分子ポンプ(TMP)の製造強化とサービス拠点の拡充によるリカーリング事業の拡大を進めました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は2,819億8千4百万円(前年同期比10.0%増)となりました。営業利益は売上高の増加等により373億5千9百万円(同18.3%増)となりました。経常利益は387億2千9百万円(同23.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は282億6千4百万円(同19.6%増)となりました。なお、のれん等償却前営業利益は381億3百万円(同18.0%増)となりました。

*コア事業:液体クロマト分析システム、質量分析システム、ガスクロマト分析システムおよびリカーリング事業

各セグメントの経営成績はつぎのとおりです。なお、当中間連結会計期間より、当社グループはセグメント利益の測定方法を変更しています。当該変更の詳細は、添付資料P.12「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4)中間連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりです。

Ⅰ. 計測機器事業

計測機器事業は、一部の地域で中東情勢悪化による設備投資遅延の影響を受けながらも、欧州の臨床検査市場、北米・中国の医薬品市場など、成長分野への販売を強化し、新製品の積極的な投入とソリューション提案力の強化に取り組みました。また製品ラインアップ拡充やプロアクティブサポートの積極提案により、アフターサービスや試薬・消耗品を強化し、リカーリング事業の拡大を進めました。これらの取り組みにより、ライフサイエンス分野で、医薬品・臨床検査市場向けの液体クロマト分析システムや質量分析システムが増加しました。

この結果、当事業の売上高は1,770億8千9百万円(前年同期比5.3%増)となりました。セグメント利益はリカーリング事業の拡大に加え、付加価値訴求による収益性の改善により245億7千5百万円(同2.3%増)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

		2026年3月期 中間期 (百万円)	2027年3月期 中間期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本		60,455	60,584	0.2	中東情勢悪化の影響を受けながらも、半導体・電池分野の需要を捉え、試験機や非破壊検査装置などが増加
海外		107,676	116,505	8.2	海外売上高比率は65.8%と1.8pt増加
主要地域	北米	19,902	21,680	8.9	医薬品、官庁・大学向けに液体クロマト分析システムが増加
	欧州	20,388	23,207	13.8	臨床検査会社向けや官庁・大学向けに質量分析システムが増加
	中国	33,258	33,844	1.8	医薬品向けに液体クロマト分析システムや質量分析システムが増加
	その他のアジア	24,610	26,674	8.4	中東情勢悪化の影響を受けながらも、医薬品、官庁・大学向けに液体クロマト分析システムが増加

Ⅱ. 医用機器事業

医用機器事業は、画像解析にAIやIoTを融合した特長ある新製品の市場浸透施策を展開したほか、価値訴求による粗利改善や収益性の低い製品の販売縮小など収益力の向上策を展開しました。これらの取り組みにより、一般撮影システムや回診用システム、血管撮影システムが増加しました。

この結果、当事業の売上高は356億7千万円(前年同期比6.1%増)となり、セグメント利益は売上高の増加や収益性改善により29億6千4百万円(同119.2%増)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

		2026年3月期 中間期 (百万円)	2027年3月期 中間期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本		15,208	14,850	△2.3	一般撮影システムを中心にX線機種が増加したものの、収益性の低い製品の販売縮小などにより全体としては減少
海外		18,420	20,819	13.0	海外売上高比率は58.4%と3.6pt増加
主要地域	北米	5,747	6,450	12.2	新製品の効果で一般撮影システムや回診用システムが増加
	欧州	1,537	2,272	47.7	新製品の効果で一般撮影システムや回診用システムが増加
	中国	1,806	2,350	30.1	政府が推進する経済対策の需要を捉え、一般撮影システムやX線TVシステムが増加
	その他のアジア	4,595	5,188	12.9	注力地域である東南アジアで、血管撮影システムが増加

Ⅲ. 産業機器事業

産業機器事業では、生成AIやデータセンターの市場成長を背景とした半導体デバイスの需要拡大により、半導体製造装置向けターボ分子ポンプ販売およびリカーリング事業ともに増加しました。油圧機器は、建設機械・農業機械向けに増加しました。

この結果、当事業の売上高は447億9百万円(前年同期比35.8%増)、セグメント利益は売上高の増加により84億6千1百万円(同81.8%増)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

		2026年3月期 中間期 (百万円)	2027年3月期 中間期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本		12,542	16,610	32.4	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが大きく増加したことに加え、油圧機器が建設機械・農業機械向けに増加
海外		20,376	28,098	37.9	海外売上高比率は62.8%と0.9pt増加
主要地域	北米	3,889	5,333	37.1	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが大きく増加
	欧州	2,076	2,566	23.6	半導体製造装置向けターボ分子ポンプが大きく増加
	中国	10,155	11,453	12.8	半導体製造装置向けターボ分子ポンプ販売およびサービスが増加
	その他のアジア	4,169	8,614	106.6	半導体製造装置向けターボ分子ポンプ販売およびサービスが台湾・韓国で大きく増加

Ⅳ. 航空機器事業

航空機器事業は、防衛分野や民間航空機向け搭載品の需要拡大を捉えた事業展開を行いました。防衛分野では、政府の防衛力強化方針に伴い、大きく増加しました。民間航空機分野では、航空旅客需要の増加に伴い、機体製造会社向け搭載品が拡大したほか、航空会社向け補用部品も拡大しました。

この結果、当事業の売上高は215億7千9百万円(前年同期比18.5%増)、セグメント利益は売上高の増加や収益性改善により43億9千9百万円(同23.5%増)となりました。

なお、主要地域別売上高の状況は下記のとおりです。

	2026年3月期 中間期 (百万円)	2027年3月期 中間期 (百万円)	増減率 (%)	概況
日本	14,169	16,897	19.3	防衛分野で政府の防衛力強化方針により、航空機用搭載品が増加
海外	4,042	4,682	15.8	海外売上高比率は21.7%と0.5pt減少
主要地域 北米	3,591	3,957	10.2	機体製造会社向け搭載品や航空会社向け補用部品の需要拡大により増加

Ⅴ. その他の事業

当事業の売上高は29億3千5百万円(前年同期比14.9%減)となり、セグメント利益は4億9千6百万円(同9.0%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べのれんが1,238億6千6百万円、投資有価証券が100億5千2百万円それぞれ増加したことなどにより、1,300億9千6百万円増加し、8,680億7千4百万円となりました。また、負債は、短期借入金が1,100億円、契約負債が102億9千1百万円それぞれ増加したことなどにより、1,154億7千4百万円増加し、2,882億8千6百万円となりました。純資産は、利益剰余金が171億9百万円増加したことなどにより、146億2千1百万円増加し、5,797億8千8百万円となりました。

なお、のれんの増加は主にTescan Group a.s.の取得によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、当中間連結会計期間における業績の進捗に加え、半導体関連需要の拡大などを勘案し、2026年8月6日に公表しました予想を修正しています。

なお、のれん等償却前営業利益につきましては、890億円を予想しています。

(単位:百万円)

	前回公表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率(%)	(ご参考) 前年度実績
売上高	620,000	630,000	10,000	1.6	560,728
営業利益	80,000	84,000	4,000	5.0	73,702
経常利益	81,000	85,000	4,000	4.9	82,753
親会社株主に帰属する当期純利益	59,000	61,000	2,000	3.4	60,499

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,316	136,122
受取手形、売掛金及び契約資産	156,326	149,037
有価証券	－	17
商品及び製品	86,449	90,819
仕掛品	29,458	37,800
原材料及び貯蔵品	36,191	40,558
その他	23,895	21,546
貸倒引当金	△1,909	△1,956
流動資産合計	497,728	473,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	56,016	58,906
機械装置及び運搬具(純額)	12,245	15,953
土地	22,181	26,788
リース資産(純額)	1,678	1,591
建設仮勘定	2,592	5,295
その他(純額)	28,100	28,663
有形固定資産合計	122,815	137,199
無形固定資産		
のれん	7,388	131,255
その他	16,497	18,808
無形固定資産合計	23,886	150,064
投資その他の資産		
投資有価証券	20,357	30,409
長期貸付金	225	291
退職給付に係る資産	54,422	55,332
繰延税金資産	10,964	9,566
その他	7,625	11,312
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	93,546	106,865
固定資産合計	240,249	394,128
資産合計	737,978	868,074

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,532	40,161
短期借入金	－	110,000
リース債務	4,033	4,272
未払金	18,905	17,067
未払法人税等	15,015	9,843
契約負債	41,250	51,542
賞与引当金	14,841	15,249
役員賞与引当金	384	252
株式給付引当金	119	34
リコール関連引当金	772	558
その他	13,392	15,879
流動負債合計	150,248	264,862
固定負債		
リース債務	6,450	6,502
役員退職慰労引当金	139	135
退職給付に係る負債	13,810	14,897
株式給付引当金	－	38
その他	2,164	1,849
固定負債合計	22,563	23,423
負債合計	172,811	288,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	34,910	34,910
利益剰余金	452,619	469,728
自己株式	△26,070	△26,643
株主資本合計	488,108	504,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,163	12,366
為替換算調整勘定	43,402	38,384
退職給付に係る調整累計額	25,482	24,380
その他の包括利益累計額合計	77,048	75,131
非支配株主持分	9	12
純資産合計	565,166	579,788
負債純資産合計	737,978	868,074

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	256,342	281,984
売上原価	140,519	150,703
売上総利益	115,822	131,281
販売費及び一般管理費	84,242	93,922
営業利益	31,580	37,359
営業外収益		
受取利息	690	740
受取配当金	183	272
受取保険金	91	55
助成金収入	55	189
為替差益	－	574
その他	377	516
営業外収益合計	1,399	2,349
営業外費用		
支払利息	146	466
寄付金	353	38
為替差損	361	－
その他	768	474
営業外費用合計	1,630	979
経常利益	31,349	38,729
特別利益		
関係会社整理益	－	240
固定資産売却益	134	76
特別利益合計	134	316
特別損失		
固定資産処分損	82	140
特別損失合計	82	140
税金等調整前中間純利益	31,401	38,905
法人税、住民税及び事業税	7,025	10,651
法人税等調整額	745	△10
法人税等合計	7,770	10,641
中間純利益	23,630	28,264
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	23,630	28,264

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	23,630	28,264
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,464	4,203
為替換算調整勘定	3,319	△5,017
退職給付に係る調整額	△720	△1,102
その他の包括利益合計	4,063	△1,916
中間包括利益	27,694	26,347
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,694	26,347
非支配株主に係る中間包括利益	△0	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	31,401	38,905
減価償却費	9,909	10,666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	156	63
賞与引当金の増減額(△は減少)	△777	△484
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△161	△134
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△867	△1,342
受取利息及び受取配当金	△874	△1,013
支払利息	146	466
為替差損益(△は益)	△11	△96
有形固定資産除売却損益(△は益)	△52	63
売上債権の増減額(△は増加)	18,848	12,857
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,219	△8,603
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,719	△4,253
契約負債の増減額(△は減少)	△4,512	5,737
その他	2,100	75
小計	38,367	52,907
利息及び配当金の受取額	947	1,033
利息の支払額	△160	△496
法人税等の支払額	△8,778	△15,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,376	37,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△8,061	△17,337
固定資産の売却による収入	238	197
投資有価証券の取得による支出	△1,632	△3,582
投資有価証券の売却による収入	－	0
貸付けによる支出	△18	△112
貸付金の回収による収入	33	34
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△112,329
その他	1,195	△882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,245	△134,012

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	110,000
短期借入金の返済による支出	△451	△1,218
長期借入金の返済による支出	△37	△29,291
配当金の支払額	△11,552	△12,136
リース債務の返済による支出	△2,271	△2,797
自己株式の増減額(△は増加)	47	△572
その他	△0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,265	63,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,066	△172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,933	△32,200
現金及び現金同等物の期首残高	137,190	160,839
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	32	－
現金及び現金同等物の中間期末残高	147,156	128,638

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

1)セグメント情報

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他(注)1	小計	調整額(注)2	合計(注)3
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	報告セグメント計				
売上高									
外部顧客への売上高	168,132	33,628	32,918	18,211	252,891	3,451	256,342	−	256,342
セグメント間の内部売上高	20	12	30	8	72	1,154	1,226	△1,226	−
計	168,153	33,641	32,949	18,220	252,963	4,605	257,569	△1,226	256,342
セグメント利益	24,034	1,352	4,653	3,563	33,604	455	34,060	△1,772	32,288

(注) 1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、不動産管理、建設舗床等の事業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△1,772百万円は、主に各報告セグメントに配賦しない試験研究費および基幹システム関連費用等です。

3 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益31,580百万円との差は、のれん等の償却費707百万円です。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでいます。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他(注)1	小計	調整額(注)2	合計(注)3
	計測機器	医用機器	産業機器	航空機器	報告セグメント計				
売上高									
外部顧客への売上高	177,089	35,670	44,709	21,579	279,049	2,935	281,984	−	281,984
セグメント間の内部売上高	61	16	48	−	126	1,363	1,489	△1,489	−
計	177,151	35,686	44,758	21,579	279,175	4,298	283,474	△1,489	281,984
セグメント利益	24,575	2,964	8,461	4,399	40,401	496	40,897	△2,793	38,103

(注) 1「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、不動産管理、建設舗床等の事業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△2,793百万円は、主に各報告セグメントに配賦しない試験研究費および基幹システム関連費用等です。

3 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益37,359百万円との差は、のれん等の償却費744百万円です。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでいます。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、当社グループは経営上の重要な指標を営業利益からのれん等償却前営業利益に変更したことおよび費用配賦の考え方を見直したことから、セグメント利益の測定方法を変更しています。当該変更は、本業での継続的な収益力の成果を測定するために実施したものです。

これに伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報についても組替えを行っています。当該変更により、「セグメント利益」のうち、「計測機器」が636百万円、「医用機器」が85百万円、「産業機器」が34百万円、「調整額」が△48百万円、「合計」が707百万円増加しました。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当中間連結会計期間において、新たに株式を取得したGlass HoldCo s.r.o.およびその子会社Tescan Group a.s.他16社を連結の範囲に含めています。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「計測機器」セグメントにおいて164,251百万円増加しています。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「計測機器」セグメントにおいて、新たに株式を取得したGlass HoldCo s.r.o.およびその子会社Tescan Group a.s.他16社を連結の範囲に含めています。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては127,179百万円です。

なお、のれんの金額は当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

2)関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) (単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
105,823	38,800	24,287	45,320	33,433	8,677	256,342

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日) (単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
111,875	44,114	28,627	47,662	40,604	9,100	281,984

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州	:アメリカ
欧州	:イギリス、ドイツ
中国	:中国
その他のアジア	:インド、東南アジア、韓国、台湾
その他	:オーストラリア、中近東、アフリカ

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したGlass HoldCo s.r.o.およびその子会社Tescan Group a.s.他16社を連結の範囲に含めています。

3. 補足情報

2027年3月期中間期 決算の概要

行番			2026年3月期 中間 連結会計期間	2027年3月期 中間 連結会計期間	対前年同期		2026年3月期	2027年3月期
			実績	実績	増減額	増減率	実績	予想
1	売上高	百万円	256,342	281,984	25,642	10.0%	560,728	630,000
2	売上高(計測機器)	百万円	(168,132)	(177,089)	(8,957)	(5.3%)	(364,908)	―
3	売上高(医用機器)	百万円	(33,628)	(35,670)	(2,041)	(6.1%)	(73,794)	―
4	売上高(産業機器)	百万円	(32,918)	(44,709)	(11,790)	(35.8%)	(71,523)	―
5	売上高(航空機器)	百万円	(18,211)	(21,579)	(3,367)	(18.5%)	(43,371)	―
6	売上高(その他)	百万円	(3,451)	(2,935)	(△515)	(△14.9%)	(7,130)	―
7	地域別売上高【日本】	百万円	105,823	111,875	6,052	5.7%	242,581	―
8	地域別売上高【海外】	百万円	150,518	170,109	19,590	13.0%	318,147	―
9	海外売上高(米州)	百万円	(38,800)	(44,114)	(5,314)	(13.7%)	(81,866)	―
10	海外売上高(欧州)	百万円	(24,287)	(28,627)	(4,339)	(17.9%)	(54,802)	―
11	海外売上高(中国)	百万円	(45,320)	(47,662)	(2,342)	(5.2%)	(91,736)	―
12	海外売上高(その他のアジア)	百万円	(33,433)	(40,604)	(7,171)	(21.5%)	(71,468)	―
13	海外売上高(その他)	百万円	(8,677)	(9,100)	(422)	(4.9%)	(18,272)	―
14	営業利益	百万円	31,580	37,359	5,779	18.3%	73,702	84,000
15	のれん等償却前営業利益	百万円	32,288	38,103	5,815	18.0%	75,142	89,000
16	経常利益	百万円	31,349	38,729	7,379	23.5%	82,753	85,000
17	親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	百万円	23,630	28,264	4,633	19.6%	60,499	61,000
18	1株当たり中間(当期)純利益	円	81.79	97.82	―	―	209.39	211.21
19	1株当たり配当金	円	27.00	28.00	―	―	69.00	72.00
20	設備投資	百万円	11,883	22,969	11,085	93.3%	22,117	30,000
21	減価償却費	百万円	9,909	10,666	757	7.6%	20,381	20,000
22	総資産	百万円	672,500	868,074	195,574	29.1%	737,978	―
23	純資産	百万円	514,013	579,788	65,774	12.8%	565,166	―
24	自己資本比率	%	76.4	66.8	―	―	76.6	―
25	連結従業員数	人	14,753	15,721	968	―	14,649	―
26	連結子会社数	社	77	93	―	―	77	―
27	(日本)	(社)	(21)	(21)	―	―	(21)	―
28	(海外)	(社)	(56)	(72)	―	―	(56)	―